

第 69 回 全国高等学校 軟式野球選手権 北信越大会 開催要項 (案)

1. 名 称 第 69 回全国高等学校 軟式野球選手権 北信越大会
2. 期 日 令和 6 年 7 月 31 日 (水)、8 月 1 日 (木) 2 日間
※雨天順延 予備日 8 月 2 日 (金)、8 月 5 日 (月)
3. 会 場 セキスイハイム松本スタジアム
4. 主 催 北信越地区高等学校野球連盟
5. 主 管 長野県高等学校野球連盟
6. 後 援 長野県教育委員会、松本市、松本市教育委員会
朝日新聞社長野総局、毎日新聞社長野支局
7. 参 加 資 格 日本高等学校野球連盟の制定する 2024 年度 (令和 6 年度) 大会参加者資格規定による。ただし、令和 6 年度に硬式野球選手として登録された者ならびに母校を背景としたクラブチーム以外の野球チームに登録または所属した者は出場することはできない。
各県高等学校野球連盟軟式部に加盟した学校に限る。
8. 試 合 球 全日本軟式野球連盟公認の M 号球を使用する。
9. 参 加 校 長野県 1 校、新潟県 1 校、富山県 1 校、春季北信越大会優勝県、長野県 1 校
計 4 校
10. 入 場 料 無料。
11. 参加申込み 7 月 23 日 (火) 12 時までに所定の選手資格証明書をメールにて提出すること。
原本は、公式練習の際に提出すること。
【提出先】長野県高等学校野球連盟軟式部会 常務理事 上條守広 宛
E-mail : nanshiki@nagano-hbf.jp
【問い合わせ先】 〒390-0221 長野県松本市里山辺 4202
エクセラン高等学校
長野県高等学校野球連盟軟式部会事務局
TEL : 090-1550-5589
12. 組合せ抽選 7 月 23 日 (火) 16 時 30 分より、オンラインによる抽選を行う。
なお、抽選は次の原則に従う。
① 同一県チームは、1 回戦で対戦しない。
13. 大会本部 セキスイハイム松本スタジアム TEL 090-1550-5589
14. 開・閉会式 7 月 31 日 (水) 午前 9 時より開会式、8 月 1 日 (木) 決勝戦終了後、閉会式を行う。

【開会式】 (9:00)

- 1 役員整列
- 2 選手入場
- 3 国旗・連盟旗掲揚
- 4 優勝旗返還
- 5 開会の挨拶
- 6 選手宣誓
- 7 一同退場

【閉会式】

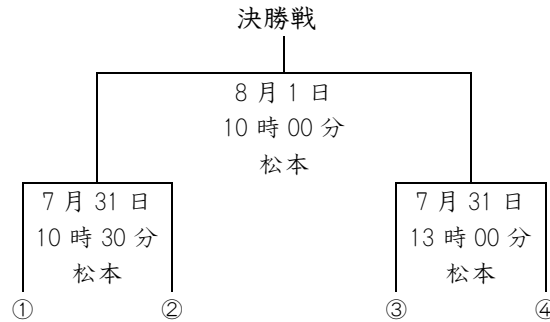
- 1 役員整列
- 2 選手入場
- 3 表彰
- 4 閉会の挨拶
- 5 国旗・連盟暉降納
- 6 両校選手ダイヤモンド一周
- 7 一同退場

- 開会式には、各チームとも午前 8 時 45 分までに全員ユニフォームを着用して、スタジアム所定の場所 (後日指示) に集合して下さい。
- 開会式の入場は、アップシューズで統一してください。

- 入場時のプラカード持ちは、選手、選手と同じユニフォームを着用した部員（背番号なし）、女子部員のいずれかとする。女子部員の場合、選手と同じユニフォームを着用するか、制服・黒のローファー靴（または白の運動靴）とする。
- 選手宣誓は、長野県代表校（ 高校）とする。

15. 組み合わせ

※ 番号の若い方が1塁側



16. 審判委員 長野県高等学校野球連盟審判委員

17. 経費 出場チームの旅費、宿泊費は全額各チーム負担とする。

18. 大会前日（7月30日 公式練習割り当て ※変更あり）

練習時間	セキスイハイム松本スタジアム
10:00～11:30	
11:30～13:00	
13:00～14:30	
14:30～16:00	

※ 練習ユニフォームは原則、チームで統一すること。ただし、チーム事情等で統一できない場合は、事前に大会本部へ連絡すること。

19. 宿舎

学校名	宿舎名	住所	電話	F A X

※ 宿泊の申込は別紙の「宿泊要項」に従ってください。

20. 試合中の紛争処理

試合中に紛争が生じた場合は、その試合を担当する審判員が責任をもって処理する。

21. 試合に関する諸規定

- (1) 試合は 2024 年度公認野球規則、アマチュア野球内規、高校野球特別規則を適用する。
- (2) 試合前練習は、外野でウォーミングアップ、キャッチボール、内野ファウルエリアでトスバッティングができる。外野では、必ずアップシューズで行うこと。トスバッティングを行う場合、打者は内野フェアグラウンド方向へ打つこと。サイドノックは禁止とする。
- (3) スパイクは、シートノックでグラウンドに入る直前にベンチで履き替えること。
- (4) シートノックは原則として7分間ずつ行う。ただし、前試合の進行が遅れた時等で時間を短縮したり省略することもある。なお、シートノックの練習補助員（生徒に限る）参加を5名まで認める。補助員は、必ずヘルメットを着用し、ノッカーへのボール手渡し、送球受球（ダイヤモンド内は1塁ベースのみ可）、ブルペン捕手等とし、ノックは絶対に受けないこと。また、女子部員の補助員を、ノッカーへのボール手渡しに限り、最大2名まで認める。ただし、責任教師の指導の下、高校野球にふさわしい運動着、運動靴で参加すること。
- (5) ノッカーが、監督、責任教師以外の場合は、大会本部に届け出ること。
- (6) ベンチ入り人員は、責任教師・監督・記録員（生徒に限る）各1名と登録選手18人以内の最大21人以内とする。なお、記録員の服装は、学生服、トレーニングウェア、背番号のないユニフォームのいずれかとする。
- (7) 打者、走者およびベースコーチ、バットボーイ、ボールパーソンは、危険防止のため、必ずSGマーク付き（製品安全協会認証）両耳つきヘルメットを着用する。色彩は黒、紺または白のいずれか1色とし、表面にはチームの校名および、その頭文字、校章、番号以外の表示はできない。また、側頭部への校名等の表記を禁止し、前頭部1ヶ所とする。なお、後頭部または側頭部への番号表記は差し支えない。捕手は守備につく際、必ずヘルメット（SGマーク付）、マスク、プロテクター、レガース、ファールカップを着用すること。マスク、プロテクター、レガースの色彩は、黒、紺とし、ヘルメットの色彩と表記は打者用と同じ扱いとする。
- (8) 金属バットの使用は、日本高等学校野球連盟並びに全日本軟式野球連盟で許可したものに限り、硬式用金属バットの使用も認める。ただし、色彩（バット本体、商標）は、日本高等学校野球連盟が定めた「高校野球用具の使用制限」で規制したものに限り（金属の地金の色、木製に近い色または黒色）。商標表示は1色に限る。ただし、表示の大きさは縦8センチ、横28センチ以内とする。なお、軟式用バットの打撃部への商標表示については、2ヶ所（表面、裏面）まで認める。また、テーパー部にはリングなど商標と認識されない印刷は認める。なお、木製、金属バット以外のバット（ビヨンド、ハイコンバット等）の使用は認めない。
- (9) 走者やベースコーチらが、捕手のサインを見て打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。もし、疑わしい行為があれば審判員はタイムをかけ、当該選手と攻撃側ベンチに注意し中止させる。
- (10) コールドゲームは5回以降10点差、7回以降7点差とする。決勝戦においてはコールドゲームを適応しない。
- (11) 天候状態などで球審が試合の打ち切りを命じた場合は、継続試合として翌日以降に試合を行う。なお、行われた回数に関係なく、勝敗を決する（通常は9回、タイブレークになった場合も含む）まで継続して行う）
- (12) 試合が延長戦に入り9回終了時に同点の場合、10回からタイブレークを開始する（高校野球特別規則22）。
- (13) 危険防止のため、鉄棒、バットリングなどの持ち込みを禁ずる。また、メガホンの持ち込みは1個とし、使用は監督に限る。試合中のベンチ内での携帯電話、ラジオ等の使用を禁じる。

- (14) 攻守の決定は、第1試合の場合は試合開始予定時刻の40分前、第2試合以降の場合には試合開始予定時刻の1時間前に大会本部で行う。所定の用紙にオーダーを記入の上、両校の責任教師は主将を同行して集合すること。なお、オーダー用紙は球場に到着次第速やかに提出すること。
- (15) 責任教師、監督、選手の登録変更は、開会式受付時まで認める。所定の用紙に記入の上、大会本部に提出すること。
- (16) 今大会に登板するすべての投手に関して、総投球数が500球を超えないこと。また、本大会開催1週間以内に県予選会を実施した県は、大会前日までに、出場校の公式記録を大会本部へ提出すること。(メール可)

22. 応 援

- (1) 生徒応援団には必ず引率教師がつき、所定の席で応援すること。
- (2) ブラスバンド以外の鳴り物は禁止する。太鼓の使用はリーダーのみ認める。試合前後と自チームの攻撃の時に演奏し、相手チームの攻撃の時は自粛する。
- (3) 横断幕等はスタンドの最上部に取り付けること。

23. そ の 他

- (1) 試合中に起こった不慮の事故に対しては、応急手当てをする以外、主催は一切責任を負わない。
- (2) 前回大会優勝校(富山第一高校)は優勝旗を返還すること。